



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

# 学芸プログラム 通信 No.14 2022年9~10月号

劇場を出ると、たくさんの人たちが空を見上げてスマホを向けているので、何かと思わず顔を上げると、なんとそこには赤銅色の月。「皆既月食！」思わず声が上がってしまいました。空に浮かび上がった褐色の月の満ち欠けはなんとも幻想的で、しばらくの間、月の変化の様を見つめていました。

今年の秋は深まりが早く、朝晩の冷え込みもきついですが、昼間は本当に雲一つない秋空が広がる気持ちの良い日が多かったですね。それでも、まだまだ、新型コロナウイルスの感染は収束の気配を見せてくれませんが、劇場の学芸チームは元氣いっぱい活動を繰り広げました。

まず、玉川地域社会福祉協議会との共催で行った「大学生演劇ボランティア」では社会福祉協議会が実施している事業の周知を図るために、応募で集まってくれた大学生の皆さんと演劇仕立てにして内容を伝える作品を作りました。劇団名も出来て、その名も「新風」。集まってくくださった地域住民の皆さんにも「分かりやすい」と好評で、たくさん質問も出て会は大変盛り上がりしました。改めて、事業内容をしっかり学んで作品作りに関わってくれた大学生の皆さんには心から感謝します。

また、夏休みの後半から始まった「世田谷パブリックシアター中学生演劇部」は、いろいろな学校から集まった中学生と共に区大会に出るための作品作りに励みました。世田谷区には29の中学校がありますが、その中で演劇部があるのはわずか8校だけ。ばらばらの中学校から集まった16名のメンバーはまとまりも良く、意見も活発に交わしながら自主的に作品作りをしてくれました。今年の作品のテーマは「子どもの権利条約」。自分達の身近な問題から、子どもにもさまざまな権利があることを伝える力強い作品になりました。区大会ではこの課題を歌やダンスも交えてレビュー形式で力強く訴え大成功。他校の中学生の作品も含めて、そのエネルギーに新型コロナも吹っ飛ばす勢いでした。

他にも、舞踏団の大駱駝艦に所属する田村一行さんによるトーク「ダンス食堂」や「デイ・イン・ザ・シアター」。また、SPTラボラトリーレクチャーでは、「障害と舞台芸術」と銘打って、障害者の方々が舞台芸術に触れる機会を増やしていくための制度の広がりについて考えを深めました。また、小学校を巡る「かなりゴキゲンなWS巡回団」も新型コロナ感染を乗り越えて多くの学校で活動することができ、加えて、下馬地区アートプロジェクトの「だれでも写真クラブ・極楽」の活動も順調に進み、12月に予定している「極楽フェス」での発表が楽しみです。

直接、人と人がコミュニケーションを取ることで生まれる喜びは、私たちの生活に元気を取り戻してくれます。冬場に差し掛かり、まだまだ安心ができない状況は続きますが、十全の注意を図りながら活動していきたいと思えます。ご支援よろしく願いたします。

2022年10月 世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井晃

## 11月・12月のピックアップニュース 10月31日時点 \*WS=ワークショップの略

子ども	11月13日(日)	「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」	中学生のための演劇WS
	11月23日(水・祝)	「ごちゃまぜ演劇ワークショップ 11月のおさんぽ編」	劇場で行う子ども対象WS
区民参加	11月6日(日)・20日(日)・12月17日(土)	「舞台芸術のクリティック2022-23」	批評を実践する講座
	11月21日(月)	「世田谷パブリックシアターダンス食堂 メニュー21 田村一行」WS	劇場で行う短時間のダンスWS
	11月25日(金)	「デイ・イン・ザ・シアター～日常のささやかな大ピンチ!?編～」	劇場で行う短時間の演劇WS
地域連携	11月1日(火)～14日(月)	「かなりゴキゲンなWS巡回団」中里小学校全学年	区内小学校の学芸会支援
	11月1日(火)～10日(木)	「かなりゴキゲンなWS巡回団」山野小学校5・6年	区内小学校の学芸会支援
	11月10日(木)・24日(木)・12月1日(木)	下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」	高齢者の居場所づくり
	11月21日(月)・12月15日(木)	「かなりゴキゲンなWS巡回団」ほっとスクール城山	適応指導教室でのWS
	12月10日(土)	極楽フェス	下馬地区で行うアートフェスティバル
育成 専門家	11月24日(木)・12月16日(金)	【演劇WSラボ】SPTラボラトリーレクチャー「演劇ワークショップと学校教育～20年を振り返る、そしてこれから～」	演劇WS専門育成



# 2022年9月～10月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム  
 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組

9月

- 1日(木) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「大学生演劇ボランティア」1/7回目 **地域連携**

13:00～17:00 (進行役:すずきこーた)  
 社会福祉協議会が実施している3つの事業「あんしん事業」「私のノート」「ふれあい・いきいきサロン」を地域住民に伝えるために、世田谷パブリックシアターと玉川地域社会福祉協議会事務所が立ち上げた共催企画。大学生のボランティアを募集して演劇を制作し、10月2日の最終日には地域の方々の前で発表を行った。
- 2日(金) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」千歳小学校1年生 **地域連携**

(進行役:とみやまあゆみ)
- 4日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」 **子ども**

3/16回目 13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)

「世田谷パブリックシアター中学生演劇部」は、年間を通じて実施している中学生対象のWS。今回は、10月末に開催される「世田谷区立中学校演劇発表会」(区大会)での上演を目標としたWSを設定し、8月よりスタートさせた。演劇部のない学校やコロナ禍であり活動できていない学校の中学生たちに、演劇活動の機会を提供した。
- 6日(火) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」千歳小学校1年生 **地域連携**

(進行役:とみやまあゆみ)
- 7日(水) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「おやこフシギ発見クラブ」⑦ **専門家育成**
- 8日(木) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」2/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 9日(金) ● 【演劇WSラボ】SPTラボラトリーレクチャー『障害と舞台芸術～制度と広がり』2/2回目 18:30～21:00 (講師:田中真実) **専門家育成**
- 12日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」上北沢小学校4年生 **地域連携**

(進行役:すずきこーた)
- 13日(火) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」千歳小学校1年生 **地域連携**

(進行役:とみやまあゆみ)
- 14日(水) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「おやこフシギ発見クラブ」⑧ **専門家育成**
- 15日(木) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」3/7回目 **地域連携**

13:00～17:00 (進行役:すずきこーた)
- 15日(木) ● 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」特別編 **地域連携**

14:00～16:00「スマホで撮った写真の加工をしてみませんか?」(進行役:金川晋吾)  
 下馬地区の高齢者に向けて定期的に実施。今回は特別編として、スマートフォンカメラの使い方のレクチャーと撮影会を企画し、はじめての人も足を運びやすい内容とした。慣れ親しんでいるスマートフォンで撮影することで、より写真を身近に感じてもらう機会となった。
- 15日(木) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「コーディネーションマインド・スキルをシェアするクラブ」⑤ **専門家育成**
- 16日(金) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」千歳小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ) **地域連携**
- 17日(土) ● 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験WS **区民参加**

①13:00～15:00「へんしん!? 顔ハメ ハメハメハート編 (だれでもデイ)」(進行役:大西由紀子)  
 ②17:00～19:00「へんしん!? 顔ハメ ハメハメハート編 (おとなデイ)」(進行役:大西由紀子)
- 18日(日) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」4/7回目 **地域連携**

13:00～17:00 (進行役:すずきこーた)
- 18日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」4・5/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 19日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」砧南小学校2年生 **地域連携**

(進行役:すずきこーた)
- 20日(火) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「おやこフシギ発見クラブ」⑨ **専門家育成**
- 21日(水) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「グリーンフェアクラブ」⑤ **専門家育成**
- 22日(木) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「感想クラブ」④ **専門家育成**
- 24日(土) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」5/7回目 **地域連携**

13:00～17:00 (進行役:すずきこーた)
- 25日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」6/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 26日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」上北沢小学校4年生 **地域連携**

(進行役:すずきこーた)
- 27日(火) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」⑤ **専門家育成**

公募で集まった大学生ボランティアは生活支援員の方のお話を聞き、演劇をつくることからスタート。学生からは、「言葉や資料で説明するより、演劇にして見てもらったほうが理解してもらいやすい」「演劇の重要性を実感できた」などの感想がありました。



「あんしん事業」について話し合う様子



進行役の話を真剣に聞く中学生たち

前回(8/19)は、障害者を取り巻く芸術文化活動の環境整備、制度のあり方が話の中心でしたが、今回は日本での実践例を聞くことができました。受講者には障害当事者、アーティスト、支援者など、様々な立場の方がおり、その交流も印象的でした。

果物と花を被写体に撮影会を行ったあと、参加者同士で写真を見合いました。同じ被写体を撮影したからこそ、撮影者によって違うこだわりが垣間見えました。参加者からは、「光の当たり方が違うだけでも、こんなに写真の印象が変わるんですね」と驚きの声があがっていました。



光の当たり方を意識して様々な角度から撮影

「漫画のような架空の世界に入るとしたら、どんなことがしたいか」を想像し、模造紙に自分を主人公にした絵を描いたあと、顔をくりぬいてオリジナルの顔ハメパネルを作成。その後、それぞれの顔ハメパネルを持ち寄って、グループで「漫画の世界でしたいこと」を劇にしました。



魔法使いや透明人間になりました

10月

- 1日(土) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」7・8/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 2日(日) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」6/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 2日(日) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画「大学生演劇ボランティア」玉川地区公演 7/7回目 **地域連携**

10:30～12:00/14:00～15:30  
 「劇団新風」～演劇で知る! 地域の頼れる仕組みのアレコレ～(進行役:すずきこーた)
- 3日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 4日(火) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」砧南小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 5日(水) ● 世田谷区立小学校教育研究会児童文化部 実技研修 **地域連携**

14:30～16:30 (進行役:すずきこーた)
- 6日(木) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」砧南小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 7日(金) ● 「世田谷パブリックシアターダンス食堂 メニュー21 田村一行」 **区民参加**

19:00～20:30 トーク(講師:田村一行)  
 当劇場で上演するダンスカンパニーの方をお招きして、トークとワークショップを行う企画。公演単体の話題に留まらず、広くそのダンサー・振付家の世界に触れることのできる場となることを目指している。
- 9日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」9・10/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 10日(月) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「おやこフシギ発見クラブ」⑩ **専門家育成**
- 12日(水) ● 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」 **地域連携**

14:00～16:00「写真日記編」(進行役:金川晋吾)
- 13日(木) ● 【演劇WSラボ】SPTラボラトリーレクチャー『演劇ワークショップと学校教育～20年を振り返る、そしてこれから～』① **専門家育成**

18:30～21:00「インプロ教育の始まりから理工系、医学系のコミュニケーション教育への広がり」(講師:高尾隆×聞き手:渡辺貴裕)  
 「演劇」「WS」「教育」という3つのキーワードを貫く実践、研究をされてきた高尾隆さんをコーディネーターに、学校の中で、あるいは学校と関わりながら挑戦的な実践を重ねてきたゲスト講師を招いて、全5回にわたりこの20年を振り返るレクチャーシリーズ。
- 16日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」11/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 17日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 20日(木) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「グリーンフェアクラブ」⑥ **専門家育成**
- 20日(木) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「コーディネーションマインド・スキルをシェアするクラブ」⑥ **専門家育成**
- 22日(土) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」12・13/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 23日(日) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 24日(月) ● 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験WS **区民参加**

①13:00～15:00「コトバで楽しむ編 (中学生からデイ)」(進行役:すずきこーた)  
 ②19:00～21:00「コトバで楽しむ編 (中学生からデイ)」(進行役:とみやまあゆみ)
- 25日(火) ● 【演劇WSラボ・クラブ活動】「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」⑥ **専門家育成**
- 26日(水) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」山野小学校5年生 (進行役:青山公美嘉) **地域連携**
- 27日(木) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」山野小学校6年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**
- 27日(木) ● 【演劇WSラボ】SPTラボラトリーレクチャー『演劇ワークショップと学校教育～20年を振り返る、そしてこれから～』② **専門家育成**

18:30～21:00「なってみる学び」を実現する授業づくり・学校づくり・教師教育」(講師:渡辺貴裕×聞き手:高尾隆)
- 29日(土) ● 「世田谷区立中学校演劇発表会」(区大会)技術支援 **子ども**
- 30日(日) ● 世田谷区立中学校演劇部と「世田谷パブリックシアター中学生演劇部」が参加する区大会を技術面から支援。中学生たちが作成した舞台・照明・音響プランに基づいて、世田谷パブリックシアターの技術スタッフが仕組みプランを作成し、リハーサル・本番の運営のサポートも行った。
- 29日(土) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」14/16回目 **子ども**

13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 30日(日) ● 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」区大会上演 15/16回目 **子ども**

15:55～「レヴェンショー 私に私であるために～子どもの権利条約より～」(進行役:大道朋奈)
- 31日(月) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた) **地域連携**

区立小学校の先生方に、学芸会指導の研修を行いました。よく低学年で選ばれる「スイミー」を例に、その一部を先生方に実際に演じてもらいながら具体的な手法をご紹介しつつ、劇場が学芸会支援の教育的側面において大切にしていることもお伝えする内容となりました。



スイミーといせえびが出会うシーン

「ファシリテーター」「俳優」「研究者」の三足の業で活動してこられた講師の高尾さんの軌跡と、「演劇」「WS」「教育」にまつわる制度の変遷と時代背景を交差させながらお話が進められました。参加者からは、「今まで理解していなかった部分が明確になった」「時代とともに変化する教育や演劇の在り方について考えることができた」との声が寄せられました。



①では詩、②では10月の季語を使った俳句を題材にWSを実施しました。読み方の工夫はもちろん、どんな場面でよまれたか考えて劇にしたり、挿絵があつたらどんな絵だろうと想像して身体で形づくったりと、様々な方向から言葉表現するWSとなりました。



まど・みちおの「竹の林」から発想した「竹林に隠れりしたみちおさん」のシーン

講師の渡辺さんが学校教育の中に「演劇」「ワークショップ」を取り入れることで、何を現実させたかったのか、また権力性や対等性をどのように考え、現場で実践してこられたのが切実に伝わってくるレクチャーでした。聞き手の高尾さんによる鋭い問いの投げかけによって、エキサイティングな回になりました。

各中学校に劇場スタッフが訪問して技術打ち合わせを行い、中学生たちのイメージを聞き取ったり、疑問に答えたりし、舞台を作り上げる過程から支援しています。オペレーションや様々な注意点などの指導はしますが、中学生たちが一生懸命作り上げてきた作品を、上演まで自分たち自身でやりとげていくことを大切にしています。



レポート



## 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所共催企画 「大学生演劇ボランティア」

事前講座：6月3日(金)、7月8日(金) WS日程：9月1日(木)、8日(木)、15日(木)、18日(日)、25日(日)、10月1日(土)

公演日時：10月2日(日) 10:30～12:00/14:00～15:30 「劇団新風」～演劇で知る! 地域の頼れる仕組みのアレコレ～

場所：等々力まちづくりセンター活動フロア 進行役：すずきこーた 進行役アシスタント：高野菜 大学生演劇ボランティア：10名

社会福祉協議会が実施している3つの事業「あんしん事業」「私のノート」「ふれあい・いきいきサロン」を周知したいという玉川地域社会福祉協議会からのご依頼を受け、劇場と同社協とで企画を立ち上げました。分かりやすい劇で知ってもらうだけでなく、福祉人材の発掘と育成もくろみ、劇を創作・出演する大学生ボランティアを公募することとなりました。

そうして集まったのは10名の学生たちです。稽古初日、シアターゲームでお互い知り合ったあと、「あんしん事業」の生活支援員の方にインタビューをしました。生活支援員になったきっかけ、活動内容や困ったこと、嬉しかったことなどを伺い演劇に立ち上げました。そうすることで、「あんしん事業」がただの仕組みでなく、地域の繋がりの一つになっていることを知ることができました。

その他、「ふれあい・いきいきサロン」を見学したり、「私のノート」を実際に書いてみたりと、学生たちは短期間の間で様々なことに触れ、学び、自身自身も見つめました。そこから演劇をつくり、みんなで意見交換をしてつくり直すということを繰り返して進めていきました。その間、意見の相違や、本当にこれで伝わるのか、そもそも何を伝えたいのかなど、多くの迷いや葛藤がありました。けれども、社協の職員さんや地域のサポーターの皆さんにアドバイスをいただきながら、諦めることなく、より良いものをつくるための共同作業を続けていきました。

公演当日、民生委員や生活支援員、チラシを見て興味をもってくださった地域住民の方々など、10代から高齢の方まで、午前午後の回をあわせて約60名の方が観に来てくれました。ご覧になった方からは、「難しい制度を理解できた」「人のつながりの大切さを知ることができた」「暮らしを豊かにするサポートがあると知れた」「学生のみなさんに元気をもらえた」など、多くの感想をいただきました。また、若い世代と高齢者との交流の場もつくることができました。

今回の取り組みは、地域の多様なつながりと相互理解を生み出し、アートを通じた新たな地域連携のあり方を提示するものとなりました。来年2月には、用賀地区の社協での再演も予定しており、活動はまだまだ続いています。



レポート



## 「世田谷パブリックシアター中学生演劇部～区大会編～」

WS日程/場所：8月27日(土)、28日(日)、9月4日(日)、18日(日)、19日(月・祝)、25日(日)、

10月1日(土)、2日(日)、9日(日)、10日(月・祝)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、29日(土) /劇場稽古場、世田谷区立裕中学校、シアターラム

区大会上演日程/場所：10月30日(日)「レビューショー 私が私であるために～子どもの権利条約より～」/成城ホール

進行役：大道朋奈 進行役アシスタント：小林遼 参加者：中学生16名

「世田谷パブリックシアター中学生演劇部」は、いろいろな学校から集まってきた中学生総勢16名が、進行役のともや(大道朋奈)、アシスタントのガイ(小林遼)とともに14回のWSを積み重ね、「世田谷区立中学校演劇発表会」(区大会)で発表しました。

WS初日、みんな緊張して固まっているかと思いきや、やる気と活気に満ち溢れていました。シーンを作り直すさいにも、進行役のアドバイスを吸収し、「より良くしよう」と自分たちでアイデアを出し工夫していました。

お互いのことが少しわかってきた頃、進行役から今年の劇のテーマが「子どもの権利条約」であることが伝えられました。「子どもの権利条約? 聞いたことはあるけれど、なんだらう?」と、みんなキョトンとした様子でした。「権利」という言葉は必ずしも中学生のみんなにとって身近であるとは言えません。権利条約がつくられた経緯や、「権利」とはなんなのかを調べたり、学校でのこと、家でのことを話したりと、いろいろな切り口から取り組みました。「子どもの権利条約かるた」の絵札をシーンにしてみたのも、「権利」を身近なものとして捉えるのにとっても有効でした。「自分達の権利」について、粘り強くトライし続け、少しずつ「権利」の姿を浮かび上がらせていきました。

また今回、進行役のともやの発案で、宝塚のレビュー形式を取り入れて作品を構成。宝塚の代表作「ベルサイユのばら」のテーマソング「愛あればこそ」を「権利あればこそ」に置き換え、劇のテーマソングとし、ダンスシーンも盛り込んで、躍動感のある作品に仕上げました。発表会では、みんな堂々と力強く歌い上げ、自分達にとっての「権利」やWSを通じて考えたことをストレートに客席に届けることができました。

